サントアースⅡ便り

社会福祉法人　ふきのとう
生活介護事業所　「サントアースⅡ」
天理市柳本町 1415 番地　℡　0743-66-1516
e-mail suntearth@fukinotou.or.jp
編集責任者　藤本　悠之

ふきのとう１０周年

本年１０月で社会福祉法人ふきのとう設立１０周年になります。それを記念してサントアースⅡの歴史も振り返ってみたいと思います。年表ではなくこれまでの写真で紹介したいと思います。

２０１５年１月開所
当初メンバーは６名でした

サントアースⅡの初外出は高取町
のひな祭りでした（２０１５．３）

２０１５．４
馬見丘陵公園

はじめての旅行は
京都水族館でした
（２０１５．１１）

開所から約一年が経過した頃から
身体の為に体操のプログラムを
するようになりました。
（２０１６．３）

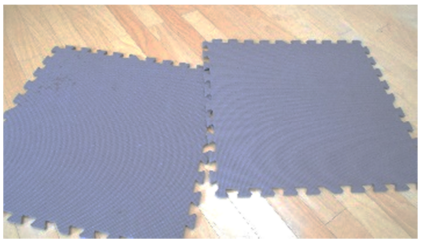
開所当初の写真と比べる
とメンバーの人数は現在
約２倍に増え、集合写真も
にぎやかになっています
（２０１７．３）

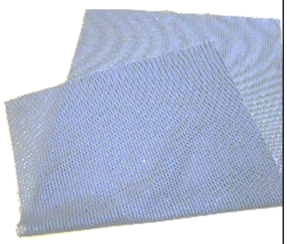
入浴介助

開所当初から入浴介助は色々な課題がありましたが、そのたびに会議をして解決策を探してきました。特に女性の入浴介助は、どのようにすれば安全に気持ちよくお風呂に入ってもらえるか、事故が起きないためにどう工夫すべきかを話し合い、入浴の順番や職員の体制など検討を重ねてきました。それらの一例を紹介します。

てぶくろ

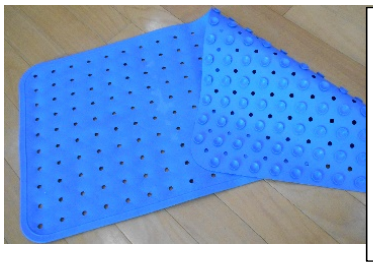
開所当初からメンバーの身体を支えつつ、洗う事ができるものを探していました。しっかりと身体をつかめ、細かいところまで洗えるものを探して、手作りでてぶくろを縫ってみたり、様々なてぶくろを使ってみたりしました。現在ではサイズや質感の満足いくものを購入しています。





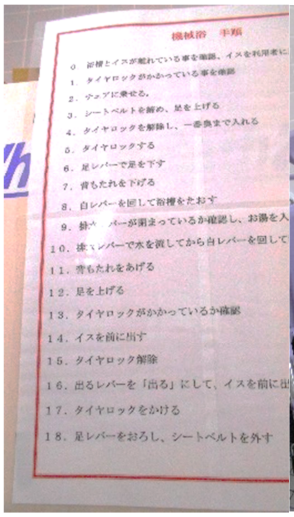
床マット

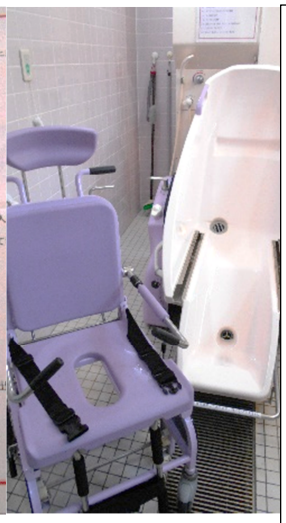
脱衣所の床はフローリングなのでそのままでは水ですべってしまします。また万が一の転倒した場合にその衝撃を和らげる為、滑り止めシートをひいたうえにクッション性のあるマットを設置しています。



吸盤マット

浴槽はステンレスで出来ており、水の浮力も伴って起き上がるときに足が滑ってしまいがちです。浴槽内に台を沈め、足を抑えるようにしたり、浴槽の床に吸盤マットを取り付けたりしています。





機械浴

一番検討を重ねたのがこの機械浴です。大きな事故は一度も起こっていませんが、日々の中で少しでも危険が感じられれば、それを会議で話し合い対策をしてきました。
機械浴の各手順を表にし、各箇所の確認を確実にするようにしたり、機械浴の際の職員の体制を決めたりしました。また機械浴の練習などもメンバーが帰った後にしたりもしました。
現在は曜日によって機械浴に入るメンバーを決め、普通浴槽と機械浴と両方入れるようにしています。また時間的余裕を持つため男女とも午前中の入浴だったのが、現在は男女を午前と午後で分けて入浴しています。

現在の入浴介助はある程度形ができあがり、検討課題はあまり感じられませんが、メンバーの身体の状態や人数の変動などによってはさらなる検討も必要になってくると思っています。現在の形に満足してしまうのではなく、より安全と効率性を目指して取り組んでいこうと思います。